

1956年(昭和31年)

平和宣言

業苦と悲惨を体験し平和の尊さを悟ったわれら長崎市民は、風霜ここに十一年、人類が自らの理性に目覚めて平和を持続し、しかもそれが恒久のものとなることを希求して来た。

本日、このとき原水爆禁止世界大会がわが長崎において開催され、高らかに平和に負う使命をかかげ、その実現の決意をひれきす。恒久平和の黎明将来たれりと、心気自らうちふるうを覚えるものである。

われら市民はここに素志を新たにして愛と倫理に基づく世界秩序の確立、和解と信頼による恒久平和の実現に邁進することを更めて誓い、しか人類の英知と勇氣と正義に訴えるものである。

ここに長崎市民の名において世界に宣言する。

昭和三十一年八月九日
長崎市長 田川 務